

令和6年度予算について  
(高速鉄道事業)

仙台市交通局



# 1. 予算の概要

## (1) 総括

高速鉄道事業は、本市における基幹交通機関として、自動車運送事業とともに市民生活や多様な都市活動を支えております。

本年度においては、南北線新型車両の1編成目の営業運転を開始するほか、施設設備の計画的な維持更新の取組みとして、特別高圧受電設備や電力管理システム等の経年劣化した南北線設備の更新を行ってまいります。また、バリアフリー化及び利便性向上の取組みとして、南北線ホームと車両の隙間縮小事業を継続して進めるほか、駅構内にある券売機及び精算機について、新紙幣に対応する機種への更新を進めてまいります。さらに、ずい道照明LED化のほか、荒井駅及び荒井車両基地に太陽光発電設備を新設するなど、脱炭素化推進にも取り組んでまいります。

近年の経営環境の変化を踏まえ、交通事業経営計画の見直し等の検討を進めるとともに、新たな増客増収の取組みとして、本年度は小児運賃低廉化の実証実験を実施するなど、引き続き収支改善に向けた各種取組みを推進することにより、経営基盤の強化を図ってまいります。

今後とも、安全・安心を最優先とした事業運営に努め、市民の皆様にとって身近な公共交通機関としての役割を果たしてまいります。

## (2) 事業計画

車両数は、148両（1編成4両）とし、年間走行キロメートルは11,461千kmで、年間総輸送人員93,461千人を見込みました。

区分	単位	令和6年度 (予定)	令和5年度 (見込)	増減 (△減)	比率 (%)
車両数	両	148	144	4	102.8
年間走行キロメートル	千km	11,461	11,778	△ 317	97.3
年間総輸送人員	千人	93,461	88,101	5,360	106.1
一日平均輸送人員	千人	256	241	15	106.2
職員数(管理者を除く)	人	448	438	10	102.3

(参考) 事業計画の路線別内訳

(南北線)

区 分	単 位	令 和 5 年 度			令和6年度 当初予算 (B)	増 減 (△減) (B)-(A)	比 率 (%) (B)/(A)
		既決予算	補正予定	補正後予算 (A)			
在 籍 車 両	両	84	0	84	88	4	104.8
年間走行キロメートル	千km	6,313	0	6,313	6,155	△ 158	97.5
年間総輸送人員	千人	66,933	0	66,933	70,815	3,882	105.8
定 期 外	千人	28,231	0	28,231	30,245	2,014	107.1
定 期	千人	38,702	0	38,702	40,570	1,868	104.8
一日平均輸送人員	千人	183	0	183	194	11	106.0
乗 車 料 収 入	千円	12,099,412	0	12,099,412	12,808,852	709,440	105.9
定 期 外	千円	6,850,825	0	6,850,825	7,324,910	474,085	106.9
定 期	千円	5,248,587	0	5,248,587	5,483,942	235,355	104.5

(東西線)

区 分	単 位	令 和 5 年 度			令和6年度 当初予算 (B)	増 減 (△減) (B)-(A)	比 率 (%) (B)/(A)
		既決予算	補正予定	補正後予算 (A)			
在 籍 車 両	両	60	0	60	60	0	100.0
年間走行キロメートル	千km	5,465	0	5,465	5,306	△ 159	97.1
年間総輸送人員	千人	29,823	0	29,823	31,810	1,987	106.7
定 期 外	千人	12,762	0	12,762	13,611	849	106.7
定 期	千人	17,061	0	17,061	18,199	1,138	106.7
一日平均輸送人員	千人	81	0	81	87	6	107.4
乗 車 料 収 入	千円	4,370,409	0	4,370,409	4,692,792	322,383	107.4
定 期 外	千円	2,502,386	0	2,502,386	2,679,451	177,065	107.1
定 期	千円	1,868,023	0	1,868,023	2,013,341	145,318	107.8

(注) 年間総輸送人員は、南北線と東西線の乗り換え分をそれぞれ含んでいる。

## 2. 収益的収入及び支出

(南北線+東西線)

(単位：千円)

科 目	令 和 5 年 度			令和6年度	増 減
	既決予算額	補正予定額 (△減)	補正後予算額 (A)	当初予算額 (B)	(△減) (B)-(A)
<b>高速鉄道事業収益</b>	<b>22,261,029</b>	<b>0</b>	<b>22,261,029</b>	<b>23,178,875</b>	<b>917,846</b>
営業収益	18,001,854	0	18,001,854	19,107,348	1,105,494
運輸収益	16,469,821	0	16,469,821	17,501,644	1,031,823
運輸雑収益	1,532,033	0	1,532,033	1,605,704	73,671
営業外収益	4,258,570	0	4,258,570	4,069,744	△ 188,826
受取利息及び配当金	12	0	12	422	410
他会計補助金	237,874	0	237,874	212,653	△ 25,221
長期前受金戻入	3,975,680	0	3,975,680	3,817,575	△ 158,105
雑収益	45,004	0	45,004	39,094	△ 5,910
特別利益	605	0	605	1,783	1,178
過年度損益修正益	0	0	0	1,000	1,000
その他特別利益	605	0	605	783	178
<b>高速鉄道事業費用</b>	<b>25,040,348</b>	<b>△ 1,103,247</b>	<b>23,937,101</b>	<b>24,607,546</b>	<b>670,445</b>
営業費用	23,086,546	△ 1,209,768	21,876,778	22,899,212	1,022,434
人件費	4,249,160	△ 306,768	3,942,392	4,421,527	479,135
経費	9,319,257	△ 903,000	8,416,257	9,172,325	756,068
減価償却費	9,518,129	0	9,518,129	9,305,360	△ 212,769
営業外費用	1,903,792	106,521	2,010,313	1,657,334	△ 352,979
支払利息及び 企業債取扱諸費	1,448,485	0	1,448,485	1,406,956	△ 41,529
消費税及び地方消費税	454,307	106,521	560,828	249,378	△ 311,450
雑支出	1,000	0	1,000	1,000	0
特別損失	10	0	10	1,000	990
過年度損益修正損	10	0	10	1,000	990
予備費	50,000	0	50,000	50,000	0
当年度純損益 (税込み)	△ 2,779,319	1,103,247	△ 1,676,072	△ 1,428,671	247,401
<b>当年度純損益 (税抜き)</b>	<b>△ 3,014,274</b>	<b>1,128,222</b>	<b>△ 1,886,052</b>	<b>△ 1,989,070</b>	<b>△ 103,018</b>
繰越利益剰余金 (△繰越欠損金)	△ 97,387,176	0	△ 97,387,176	△ 99,273,228	△ 1,886,052
未処分利益剰余金 (△未処理欠損金)	△ 100,401,450	1,128,222	△ 99,273,228	△ 101,262,298	△ 1,989,070

(注) 消費税及び地方消費税込みの額である。ただし、当年度純損益(税抜き)、繰越利益剰余金及び未処分利益剰余金については、消費税及び地方消費税抜きの額である。

## (参考) 収益的収入及び支出の路線別内訳

(南北線)

(単位：千円)

科 目	令和5年度			令和6年度 当初予算額 (B)	増 減 (△減) (B)-(A)
	既決予算額	補正予定額 (△減)	補正後予算額 (A)		
<b>高速鉄道事業収益</b>	<b>14,565,736</b>	<b>0</b>	<b>14,565,736</b>	<b>15,303,569</b>	<b>737,833</b>
営業収益	13,172,961	0	13,172,961	13,911,429	738,468
運輸収益	12,099,412	0	12,099,412	12,808,852	709,440
運輸雑収益	1,073,549	0	1,073,549	1,102,577	29,028
営業外収益	1,392,170	0	1,392,170	1,390,357	△ 1,813
受取利息及び配当金	9	0	9	317	308
他会計補助金	174,113	0	174,113	152,829	△ 21,284
長期前受金戻入	1,200,426	0	1,200,426	1,203,636	3,210
雑収益	17,622	0	17,622	33,575	15,953
特別利益	605	0	605	1,783	1,178
過年度損益修正益	0	0	0	1,000	1,000
その他特別利益	605	0	605	783	178
<b>高速鉄道事業費用</b>	<b>12,612,729</b>	<b>△ 698,484</b>	<b>11,914,245</b>	<b>12,505,379</b>	<b>591,134</b>
営業費用	11,504,176	△ 778,739	10,725,437	11,567,984	842,547
人件費	2,593,450	△ 166,659	2,426,791	2,721,136	294,345
経費	5,500,319	△ 612,080	4,888,239	5,259,997	371,758
減価償却費	3,410,407	0	3,410,407	3,586,851	176,444
営業外費用	1,078,543	80,255	1,158,798	906,395	△ 252,403
支払利息及び 企業債取扱諸費	681,280	0	681,280	656,017	△ 25,263
消費税及び地方消費税	396,263	80,255	476,518	249,378	△ 227,140
雑支出	1,000	0	1,000	1,000	0
特別損失	10	0	10	1,000	990
過年度損益修正損	10	0	10	1,000	990
予備費	30,000	0	30,000	30,000	0
<b>当年度純損益 (税込み)</b>	<b>1,953,007</b>	<b>698,484</b>	<b>2,651,491</b>	<b>2,798,190</b>	<b>146,699</b>

(東西線)

(単位：千円)

科 目	令和5年度			令和6年度 当初予算額 (B)	増 減 (△減) (B)-(A)
	既決予算額	補正予定額 (△減)	補正後予算額 (A)		
<b>高速鉄道事業収益</b>	<b>7,695,293</b>	<b>0</b>	<b>7,695,293</b>	<b>7,875,306</b>	<b>180,013</b>
営業収益	4,828,893	0	4,828,893	5,195,919	367,026
運輸収益	4,370,409	0	4,370,409	4,692,792	322,383
運輸雑収益	458,484	0	458,484	503,127	44,643
営業外収益	2,866,400	0	2,866,400	2,679,387	△ 187,013
受取利息及び配当金	3	0	3	105	102
他会計補助金	63,761	0	63,761	59,824	△ 3,937
長期前受金戻入	2,775,254	0	2,775,254	2,613,939	△ 161,315
雑収益	27,382	0	27,382	5,519	△ 21,863
<b>高速鉄道事業費用</b>	<b>12,427,619</b>	<b>△ 404,763</b>	<b>12,022,856</b>	<b>12,102,167</b>	<b>79,311</b>
営業費用	11,582,370	△ 431,029	11,151,341	11,331,228	179,887
人件費	1,655,710	△ 140,109	1,515,601	1,700,391	184,790
経費	3,818,938	△ 290,920	3,528,018	3,912,328	384,310
減価償却費	6,107,722	0	6,107,722	5,718,509	△ 389,213
営業外費用	825,249	26,266	851,515	750,939	△ 100,576
支払利息及び 企業債取扱諸費	767,205	0	767,205	750,939	△ 16,266
消費税及び地方消費税	58,044	26,266	84,310	0	△ 84,310
予備費	20,000	0	20,000	20,000	0
<b>当年度純損益 (税込み)</b>	<b>△ 4,732,326</b>	<b>404,763</b>	<b>△ 4,327,563</b>	<b>△ 4,226,861</b>	<b>100,702</b>

(注) 消費税及び地方消費税込みの額である。

なお、路線別の内訳は、一部、運輸収益比や営業キロ比等により按分をしている。

### 3. 資本的収入及び支出

(南北線+東西線)

(単位：千円)

科 目	令 和 5 年 度			令和6年度	増 減
	既決予算額	補正予定額 (△減)	補正後予算額 (A)	当初予算額 (B)	(△減) (B)-(A)
<b>高速鉄道事業資本的収入</b>	<b>4,343,323</b>	<b>△ 275,000</b>	<b>4,068,323</b>	<b>9,615,716</b>	<b>5,547,393</b>
企業債	3,716,000	△ 220,000	3,496,000	8,085,000	4,589,000
出資金	531,000	△ 55,000	476,000	1,252,000	776,000
他会計補助金	91,668	0	91,668	117,367	25,699
その他資本的収入	4,655	0	4,655	161,349	156,694
<b>高速鉄道事業資本的支出</b>	<b>12,151,532</b>	<b>△ 274,725</b>	<b>11,876,807</b>	<b>16,322,346</b>	<b>4,445,539</b>
建設改良費	2,672,429	△ 274,725	2,397,704	6,439,867	4,042,163
企業債償還金	9,448,993	0	9,448,993	9,852,369	403,376
投資	100	0	100	100	0
その他資本的支出	10	0	10	10	0
予備費	30,000	0	30,000	30,000	0
<b>差 引</b>	<b>△ 7,808,209</b>	<b>△ 275</b>	<b>△ 7,808,484</b>	<b>△ 6,706,630</b>	<b>1,101,854</b>

<b>補 て ん 財 源</b>	<b>2,275,314</b>	<b>877,130</b>	<b>3,152,444</b>	<b>2,790,156</b>	<b>△ 362,288</b>
消費税及び地方消費税額	229,342	△ 24,975	204,367	555,756	351,389
損益勘定留保資金	6,191,562	△ 226,117	5,965,445	6,120,510	155,065
当年度純損益	△ 3,014,274	1,128,222	△ 1,886,052	△ 1,989,070	△ 103,018
前年度繰越金	△ 1,131,316	0	△ 1,131,316	△ 1,897,040	△ 765,724
<b>資本費負担緩和分企業債</b>	<b>559,000</b>	<b>0</b>	<b>559,000</b>	<b>560,000</b>	<b>1,000</b>
<b>特別減収対策企業債</b>	<b>2,200,000</b>	<b>0</b>	<b>2,200,000</b>	<b>—</b>	<b>皆減</b>
<b>当年度末資金剰余額</b>	<b>△ 2,773,895</b>	<b>876,855</b>	<b>△ 1,897,040</b>	<b>△ 3,356,474</b>	<b>△ 1,459,434</b>

(注) 消費税及び地方消費税込みの額である。ただし、補てん財源及び当年度末資金剰余額については、消費税及び地方消費税抜きの額である。

## (参考) 資本的収入及び支出の路線別内訳

(南北線)

(単位：千円)

科 目	令 和 5 年 度			令和6年度	増 減 (B)-(A)
	既決予算額	補正予定額 (△減)	補正後予算額 (A)	当初予算額 (B)	
<b>高速鉄道事業資本的収入</b>	<b>2,891,323</b>	<b>△ 275,000</b>	<b>2,616,323</b>	<b>6,961,356</b>	<b>4,345,033</b>
企業債	2,293,000	△ 220,000	2,073,000	5,670,000	3,597,000
出資金	502,000	△ 55,000	447,000	1,031,000	584,000
他会計補助金	91,668	0	91,668	117,367	25,699
その他資本的収入	4,655	0	4,655	142,989	138,334
<b>高速鉄道事業資本的支出</b>	<b>7,627,734</b>	<b>△ 274,725</b>	<b>7,353,009</b>	<b>10,647,318</b>	<b>3,294,309</b>
建設改良費	2,523,697	△ 274,725	2,248,972	5,311,238	3,062,266
企業債償還金	5,085,967	0	5,085,967	5,318,010	232,043
投資	60	0	60	60	0
その他資本的支出	10	0	10	10	0
予備費	18,000	0	18,000	18,000	0
<b>差 引</b>	<b>△ 4,736,411</b>	<b>△ 275</b>	<b>△ 4,736,686</b>	<b>△ 3,685,962</b>	<b>1,050,724</b>

(東西線)

(単位：千円)

科 目	令 和 5 年 度			令和6年度	増 減 (B)-(A)
	既決予算額	補正予定額	補正後予算額 (A)	当初予算額 (B)	
<b>高速鉄道事業資本的収入</b>	<b>1,452,000</b>	<b>0</b>	<b>1,452,000</b>	<b>2,654,360</b>	<b>1,202,360</b>
企業債	1,423,000	0	1,423,000	2,415,000	992,000
出資金	29,000	0	29,000	221,000	192,000
その他資本的収入	0	0	0	18,360	18,360
<b>高速鉄道事業資本的支出</b>	<b>4,523,798</b>	<b>0</b>	<b>4,523,798</b>	<b>5,675,028</b>	<b>1,151,230</b>
建設改良費	148,732	0	148,732	1,128,629	979,897
企業債償還金	4,363,026	0	4,363,026	4,534,359	171,333
投資	40	0	40	40	0
予備費	12,000	0	12,000	12,000	0
<b>差 引</b>	<b>△ 3,071,798</b>	<b>0</b>	<b>△ 3,071,798</b>	<b>△ 3,020,668</b>	<b>51,130</b>

(注) 消費税及び地方消費税込みの額である。



#### 4. 建設改良事業の概要

(単位：千円)

科目等	令和6年度 当初予算額	主たる事業
機械装置	2,654,070	特別高圧受電設備等更新
電路設備	1,671,521	電力管理システム更新
車両	948,196	南北線車両更新
建物	926,175	ホーム乗降口隙間調整材設置
その他	239,905	
計	6,439,867	

(注) 消費税及び地方消費税込みの額である。

#### 5. 債務負担行為

令和6年度当初予算

(単位：千円)

事項	期間	限度額
施設・設備 改良工事等	令和7年度から 令和9年度まで	4,365,000
地下鉄駅業務委託	令和7年度から 令和11年度まで	2,685,000
車両保守・修繕等	令和7年度	412,000